

# 回 覧

ひとりじゃない 青少年の悩みは「ふらっぷ」へ

## ふらっぷだより

第17号



発行日：平成29年12月1日

発行：宇都宮市青少年自立支援センター

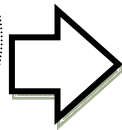
青少年自立支援センター「ふらっぷ」では、ニート・ひきこもり、非行など青少年の悩みごとの相談をお受けしています。

自立に向けての悩みは、「就活がうまくいかず落ち込んでいる」「社会に出ていく自信がない」など様々です。一人ひとり悩みをどう乗り越えるか、相談員と一緒に考えながら、少しずつ歩み出しています。今回は、相談者の一人で10月に就職したIさんをご紹介します。



Iさん

20代男性。高校2年生時に不登校となり、高校中退後、引きこもり昼夜逆転の生活でした・・・



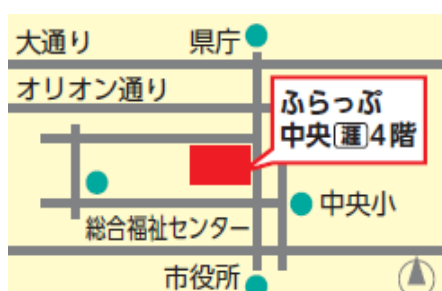
- ・「変わりたい」という思いで勇気を出して「ふらっぷ」に相談しました。
- ・まずは昼夜逆転の生活のリズムを戻そうと頑張りました。
- ・「ふらっぷ」には2週間に1回の割合で通い、相談員と色々話しました。
- ・「働く」ことに関して不安があった時も相談員から色々アドバイスをもらい「やってみよう」という気持ちになれました。



～Iさんからのメッセージ～

時間はどんどん過ぎてしまうので、迷っている時は何でもよいので実行してみよう。「よかった」と思える時はいつか来るよ。

### ◆青少年の総合相談窓口「ふらっぷ」



みない～こ

◇相談専用電話 **028-633-3715**

◇相談時間 月曜～金曜 午前9時～午後5時  
(但し祝休日、年末年始は除く)

◇所在地 中央1丁目1番13号  
(中央生涯学習センター) 4階

※予約の上お越しくください。費用は無料  
※相談内容は厳重に管理されますので、  
外部に漏れることはありません。



## 非行防止講演会

### ～青少年の犯罪の現状と犯罪心理について～

平成29年11月11日（土）東市民活動センターにおいて、「青少年の犯罪の現状と犯罪心理について」と題し、「武蔵野大学 人間科学部教授 辻恵介 講師」による講演会を開催いたしました。

近年では、少年の犯罪件数が減少しており、昔と今の不良少年の違いについて、「昔は、お酒やたばこに手を出すなど、目に見える不良行為であったが、その中でも序列や規律を学び、社会に適応をしていた。現代はネットに依存することで、他人とのつながりの希薄や社会常識の乏しさがすすみ、結果的に犯罪意識のないまま犯罪を起こすようになっている。」と話されました。

また、発達障害についても触れ、「最近では、発達障害に対する社会的認知度が高まってきている。」  
「昔なら適応できたのに、社会の目まぐるしい変化により、適応できない人たちが目立つ世の中になっている。」と指摘をされました。

参加者からの「家庭内の親子間のコミュニケーション」についての質問では、「まずは早寝早起きを習慣づけ、母親の手伝いをさせることが大切であること。早寝早起きをすることで自分で生活する習慣が身に付き、母親の手伝いをすることで母親（相手）の気持ちをくみ取る能力が育つ」とアドバイスされました。

#### ○相談員の横顔

今回は「<sup>ますもと</sup>増本 <sup>すみお</sup>澄男」さんです。



私は約40年間、青少年の非行防止対策に従事してきました。

現在は、相談業務のほか、市長の委嘱を受けた青少年巡回指導員（各小中高校の先生や地域の方など228名で構成）と協力し、各地区での「定期巡回」や、市民の皆様を対象とした「一日巡回指導体験」、「非行防止講演会」や巡回指導員を対象とした「各種研修会」などを開催し、青少年の非行防止活動に努めています。

非行は、ピークだった昭和60年代と比べて10分の1以下に減少しましたが、次代を担う青少年や保護者の悩み解決の手助けを少しでもしていきたいと思えます。相談をお待ちしています。



相談事例を紹介しているふらっふだよりのバックナンバーをホームページで公開しています。

ホームページ

